

例年当事務所が実施している新任職員を対象とした実地研修の一環として、Kettering Borough Council（以下、「ケタリング」）を訪問した。

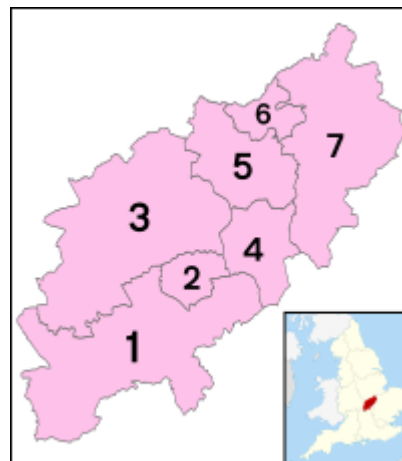
1. ケタリングについて

ケタリングはイングランド中部に位置する Northamptonshire County 内7つの区のうちの一つ。

ドイツの「Lahnstein」、アメリカ合衆国 Ohio 州の「Kettering」と姉妹都市となっている。

2011年国勢調査時点での人口は67,635人だが、ロンドン St Pancras 駅直通の Midland Main Line 鉄道沿線に位置していることもあり、人口は増加傾向にある。

靴、ブーツの街として栄え、19世紀には鉄道の駅もできたことから最も栄えたが、1970年代以降、これらのビジネスは急速に衰退した。



▲「5」に位置するのがケタリング

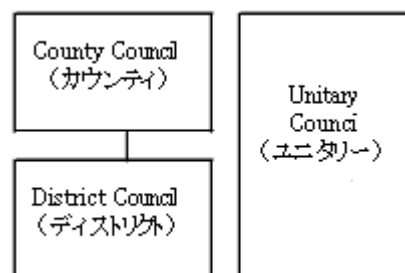
2. ケタリング概要説明：Martin Hammond 氏（Deputy Chief Executive）

①自治体と中央政府との関係について

- 英国には憲法典が存在しないため、地方の同意なしに英国政府において地方の権力、義務を策定できてしまう。
- 現政権の政策は地域主義をサポートしているかのように見えるが、実質はそうではない。
※「Localism Act2011」の施行によって地方の力が強まることが期待されたが、中身のうち大部分は既に地方が持っていた権限のパラフレーズであった

②ケタリングで実施している主要なサービス

- イングランドの多くの地域では、一層制（ユニタリー）、二層制（カウンティ、ディストリクト）の自治体構成に分かれているが、ケタリングは後者のディストリクトに相当。Northamptonshire がカウンティ。
- ケタリングが行っている主要なサービスは、住宅の供給、道路の清掃、ゴミの収集、公園の維持管理、プールなどの施設整備
- カウンティにおいては高齢者、若年者のケア、道路の維持管理、学校の運営（現在はカウンティのサービスの対象とならない私立学校が増えている。）
- カウンティとディストリクトの関係は兄弟のような関係。国と地方における親子のような関係とは異なる。
- なお、人口が増加傾向にある中、カウンティにおいては高齢者ケアが課題となってきている。若い世代が高齢者を支える日本の仕組みとは異なり、高齢者ケアはカウンティが果たす役割。



③ケタリングの政治体制について

- 23の区から36の議員を選出している（保守党 25、労働党 9、英国独立党 1、無所属 1）。選挙は4年に1回で、来年は5年に1回行われる英国下院選挙と同時開催となる。
- 昔は無所属政党が多くを占めていたが、政党化が進み、現在は保守党が与党。政党化が進んだことによって事業実施という観点においては同意を得やすくなった。



④カスタマーサービス改善の取り組み

- 以前はカスタマーサービスの質が悪かった。
- カスタマーサービスセンターに窓口を集約。区のサービスだけでなく、カウンティのサービスや血液検査のサービスなど、他の機関のサービスも受け付けることを可能にし、利用者ニーズに応えている。
- 近く、警察サービスも迎え入れる予定。

3. 主要なプロジェクトの説明：Alex Jelly 氏（Economic Regeneration Manager）

ケタリングが現在取り組んでいる主要なプロジェクトについての解説（詳細は別添）。

どの分野における成長も、責任ある成長（Responsible Growth）のために取り組み、持続可能なコミュニティをつくることを目指している。

住宅供給やビジネスレートについては高い成長率を示しており、これらの活動には自信が持てている。

①EK（右図赤いエリア）

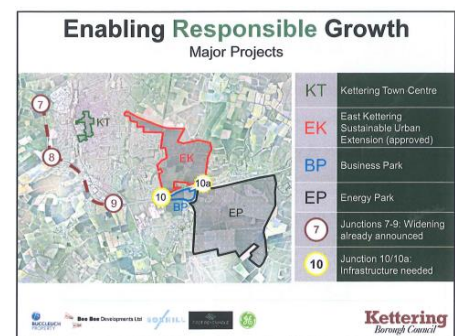
- 5,500 の新規住宅（学校や公園、一部のビジネスも含む）を計画している地域

②BP（右図青いエリア）

- 16,000 の新規ビジネス創出を目指すエリア

③EP（右図黒いエリア）

- 約 500 ヘクタールのエリアで 60 メガワットの電力を生み出す予定。
- 発電方法は既存の方法のコンビネーション（風力、太陽光、バイオマス、嫌気性消化、ガスなど）
- ケタリングにおける現在の消費電力量は 55 メガワット



④Road Infrastructure

- タウンセンターへのアクセス向上等のための道路拡張

⑤タウンセンターの再開発

- タウンセンターに公共投資を行った結果、民間部門の同地域への投資が続いた。
- 公共投資の理想的な形であると考え、結果に満足している。



▲再開発されたタウンセンター

4. 財政の概説：David Cook 氏（Chief Executive）

①英国政府からの交付金（過去）

- 過去には、地方自治体は「House tax」と「Business tax」を徴収する権限を持っていた。
- その後、中央政府は「Business Tax」を中央の財源にし、代わりに交付金として地方に分配する手法に切り替えた
- 当時の交付金の額の決定は人口割り。

②英国政府からの交付金（現在）

- 新規に住宅を供給するごとに、年間 1,000 ポンドの交付金をもらえる（6年間）
- ビジネスタックスが増加した分に対して、地方もメリットを享受できる仕組みにした。
- このため、住宅供給、ビジネスの創出に意欲的な自治体が多い。

③その他

- ケタリングが行っている住民サービスを人口割りで換算した場合、1人当たり週3ポンドで全てのサービスを担っている計算になる。

5. 再開発されたタウンセンターの視察

3. ⑤で説明を受けたタウンセンターについて、実際に現地を見ながら説明を受けた。



▲再開発後の町並み



▲ケタリングの歴史が刻まれている

